

熊本地震で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

平成 28 年 5 月 5 日（木）は「こどもの日」により閉庁日となっています。

次の発行日は平成 28 年 5 月 6 日（金）となります。

◆ 目次

1 平成 28 年熊本地震情報

・「被災者の皆様への暮らし関連情報」を国土交通省ホームページに掲載しています

2 現場リポート

・長崎・大分の造船技術研修センターで入所式～新人造船マン 58 名が挑む技術の伝承～

3 お知らせ

・「2016 九州ボートショー in 福岡」は中止します

・「平成 28 年度船員安全取組大賞」募集中～応募期限は 5 月 31 日（火）～

4 九州運輸局ホームページアップ情報

・報道発表

・お知らせ

・更新情報

1 平成 28 年熊本地震情報

◆「被災者の皆様への暮らし関連情報」を国土交通省ホームページに掲載しています

平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分頃に熊本地方で発生した地震について、気象庁はこの地震を「平成 28 年（2016 年）熊本地震」（英語名称は、「The 2016 Kumamoto Earthquake」）と命名しました。

4 月 14 日 21 時 26 分頃の「前震」、16 日 1 時 25 分頃の「本震」、相次ぐ「余震」は、熊本地方や大分地方で多くの尊い人命を奪い、鉄道や道路などの交通網を切断し、住宅や観光施設を破壊するなど甚大な被害を与えています。

九州運輸局でも前震直後に非常体制を発令し、鉄道・自動車（バス・タクシー・トラック）・海事（フェリー・旅客船）・倉庫の被害状況や運行（航）等の情報収集に努め、緊急支援物資の迅速な輸送や被災者の住環境への対応・調整に全力を尽くしているところです。

被災者支援は全府省庁を挙げての取組であり、国土交通省や観光庁でも日々変わっていく被災者ニーズを適確に把握し、様々な支援策等を施しています。

国土交通省ではホームページに「平成 28 年熊本地震関連情報」コーナーを設け、「被災者の皆様への暮らし関連情報」には被災地にお住まいの方々に必要な情報を掲示しています。また、観光庁や九州運輸局のホームページでも情報を掲示しています。どうぞ次の URL からご覧ください。

【国土交通省】

◇被災者の皆さまへの暮らし関連情報

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_004710.html

(主な情報) ※4 月 21 日 13 時 00 分現在

- ・大分県の高速道路の南北軸が回復～大分道（速見 [はやみ] ～別府 [べっふ]）約 10km を一般開放～
- ・益城町（ましきまち）寺迫（てらさこ）地区の国道 4 4 3 号が走行可能に
- ・平成 2 8 年熊本地震の発生に伴う平成 2 8 年不動産鑑定士試験（短答式）の対応について
- ・深部静脈血栓症/肺塞栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）の予防について（厚生労働省 HP）
- ・九州地方整備局所有船「海輝（かいき）」、「海煌（かいこう）」による飲料水の提供を当分の間継続します
- ・九州自動車道における緊急車両の通行可能区間の延伸について
- ・「平成 2 8 年（2 0 1 6 年）熊本地震」に係る特殊車両通行許可の迅速化について
- ・平成 2 8 年熊本地震に伴う自動車検査証の有効期間の伸長について
- ・被災された方へ宿泊施設を提供します（観光庁 HP）
- ・地震後の火災防止について（注意喚起）（消防庁消防大学校消防研究センター HP）
- ・「熊本県をはじめとする一連の地震に伴う土砂災害から身を守るために知っていただきたいこと」
- ・被保険者証（いわゆる「保険証」）を災害により紛失した場合でも、医療機関を受診できます（九州厚生局 HP）
- ・住宅に被害が生じた方への災害復興住宅融資等のお知らせ（住宅金融支援機構 HP）
- ・金融機関に対し、預金通帳が無い場合の払い戻し等について要請しています。お取引のある金融機関にご相談下さい（九州財務局 HP）
- ・申告などの期限の延長や納税の猶予などの手続は、まずは最寄りの税務署へご相談ください（国税庁 HP）
- ・熊本国税局からのお知らせ

(事業復旧関連情報)

- ・被災中小企業・小規模事業者対策（中小企業庁 HP）
- ・中小企業・小規模事業者及び農林漁業者等の皆さまを対象に特別相談窓口を設けています（日本政策金融公庫 HP）
- ・「平成 28 年熊本県熊本地方の地震に係る災害に関する特別相談窓口」を設置

(関連リンク)

- ・熊本県熊本地方を震源とする地震について（道路局 HP）
- ・医療、年金、労働、健康（エコノミークラス症候群）等に関する情報（厚生労働省 HP）
- ・生命保険、損害保険等に関する特別措置や義援金に関する情報（金融庁 HP）
- ・平成 2 8 年熊本地震に関する情報（国土地理院 HP）

- ・平成 28 年熊本地震 関連情報（観光庁 HP）
- ・九州地方整備局（トピックス・報道発表）（九州地方整備局 HP）
- ・地震情報（各地の震度に関する情報）（気象庁 HP）
- ・気象庁報道発表資料（気象庁 HP）
- ・熊本県熊本地方を震源とする地震に係る被害状況等について（内閣府 HP）
- ・災害情報詳報（消防庁 HP）
- ・熊本県熊本地方を震源とする地震に係る災害派遣について（4月16日23時50分現在）（防衛省 HP）
- ・熊本県熊本地方を震源とする地震について
- ・熊本県熊本地方を震源とする地震について（原子力規制委員会 HP）
- ・熊本県熊本地方の地震に係る災害救助法の適用について【第1報】（内閣府 HP）
- ・緊急情報（熊本県 HP）
- ・緊急情報（熊本市 HP）
- ・海上保安庁 Twitter
- ・首相官邸（災害・危機管理情報） Twitter
- ・内閣府（防災担当） Twitter

◇災害・防災情報（熊本県熊本地方を震源とする地震について）

http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_160416.html

【観光庁】

・平成 28 年熊本地震を受けた訪日外国人旅行者に対する情報発信について（4月17日）

http://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_000154.html

・被災された方へ宿泊施設を提供します（4月17日）

http://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000262.html

【九州運輸局】

・平成 28 年熊本地震対応状況（熊本運輸支局検査場 4月18日（月）から実施していません）（平成 28 年 4 月 18 日）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2016-0418-gizyutuka-tuika.htm

・平成 28 年熊本地震関係（自動車検査証の有効期間延長 熊本県及び大分県の一部）（平成 28 年 4 月 18 日）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/osirase2016-0418-gizyutuka-sasikae.htm

・平成 28 年熊本地震関係（船員法事務指定市町村 八代市役所の手続きは千丁支所で行います。）（平成 28 年 4 月 19 日）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/osirase2016-0419-seninroudoukankyoku.htm

・平成 28 年熊本地震関係（海事関係手続きの特例「船員手帳」「海技免状」等）（平成 28 年 4 月 20 日）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/osirase2016-0420-kaigisikaku.htm

2 現場レポート

◆長崎・大分の造船技術研修センターで入所式 ～新人造船マン 58 名が挑む技術の伝承～

造船業界は、団塊世代の大量退職や技術者の高齢化で若手への技術の伝承が課題となっています。このため「造船アイランド」と呼ばれる九州の中でも、とりわけ造船業が盛んな長崎県と大分県に、地元の自治体及び造船事業者が中心となって設立された造船技術研修センターがあり、4月4日(月)、両研修センターにおいて平成28年度新人研修生の入所式が開催されました。(センター設立は、大分県が平成18年、長崎県が平成19年)

「長崎地域造船造機技術研修センター」では、平成28年5月31日までの2ヶ月の間、各事業所から18歳～30歳までの総勢25名の新人研修生が、企業人としての心構え及びマナー教育規律訓練、造船関係基礎知識などの座学、ガス技能講習、玉掛け技能講習などの実習を受け、造船・機械事業所の技能者養成・資格取得のための研修を受講します。

入所式では、会長の井筒龍介氏から、研修生に対して励ましと期待の言葉があり、研修生たちは熱心に耳を傾けている様子でした。また、研修生からの決意表明では、25名の研修生の代表として、木村優星さんから造船業で勤めている父の姿を見て育ちこの業界へと進むことを決めたとの言葉を述べました。

「大分地域造船技術センター」では、受講生は熟練の造船所OBである講師から3ヶ月にわたり溶接やクレーン操作など造船業に必要な技術講習と安全教育や船の構造と建造、設計図の見方などの座学講習の指導を受けます。

入所式では同センターの角田会長(株式会社臼杵造船所社長)から「学ぶ意欲を持って造船の基本をしっかりと身につけてほしい」と挨拶があり、入所者33名を代表し、共栄船渠株式会社(佐伯市)の木下拓海さんが「同じ目標を持つ仲間と励まし合い6月の修了式には成長した姿を見せられよう頑張る」との決意表明がありました。

これまで、「長崎地域造船造機技術研修センター」では262名、「大分地域造船技術センター」では266名の修了者を輩出し、各社の第一線で活躍しています。

この研修で熟練工から造船技術と安全の心構えを学び、世界をリードする日本の造船マンとして成長することを大いに期待しています。

入所式の模様は、次のURLからご覧下さい。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_330_1.pdf

(長崎運輸支局、大分運輸支局)

3 お知らせ

◆「2016九州ポートショーin福岡」は中止します

前号(第330号、4月7日配信)にてお知らせしました、4月23日(土)～24日(日)開催予定の「2016九州ポートショーin福岡」は、熊本地震による影響及び被災者の皆さまのご心情に鑑み、中止となりましたのでお知らせします。

(海事振興部 船舶産業課)

◆「平成28年度船員安全取組大賞」募集中

～応募期限は5月31日(火)～

「船員安全乗組大賞」とは、船員の労働災害防止に取り組む船舶所有者、船員及びその関係者を対象に、その優れた取組を表彰し、紹介するとともに、船員災害防止活動の質的向上及び普及啓発を図ることを目的として創設されたものです。

応募は自薦、他薦の別を問いませんが、船員、船舶所有者またはその関係者となります。応募対象、応募方法等詳細は下記募集要項をご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk4_000014.html

(海上安全環境部 船員労働環境課)

———— 4 九州運輸局ホームページアップ情報 —————

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //////////////////////////////////////////

4月21日正午現在、熊本県を中心に相次いでいる地震で48の方がお亡くなり、2人が依然安否不明となっています。また、9万人以上が避難所での生活を余儀なくされています。

被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。

編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
